

令和4年6月定例会

令和4年6月市議会定例会は6月6日から6月20日まで（会期15日間）開かれました。今回は4人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

6月定例会では、市長から提出されました議案14件（条例4件、予算6件、その他4件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書2件を可決しました。

可決された意見書（要約）

義務教育費国庫負担制度拡充及び教職員定数の改善を求める意見書

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正により、2021年度から小学校の学級編制標準が学年進行にともなう段階的に35人に引き下げられました。

学校現場では、いじめ・不登校・子どもの貧困など解決すべき社会的課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教職員が本来すべき教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症対策にともない、新たな業務も発生しています。

義務教育費国庫負担制度については、義務教育費国庫負担法の改正以降、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として

定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが重要であり、ゆたかな学びや教職員の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の教職員の配置増など定数改善が不可欠であり、政府予算編成について十分な予算措置を強く要請いたします。

国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として、昭和16年に制定された「海の記念日」7月20日が海の日となりました。

しかし、平成15年以降、いわゆるハッピーマンデー制度により「海の日」は7月の第3月曜日になり毎年その日にちが変動する祝日となっております。

四面を海に囲まれたわが国は海なしでは成り立ちません。海から大きな恩恵を受けると同時に、様々な影響も受けます。海に生かされている、と同時に海と共に生きる、すなわち海と共生している国民であるとも言えます。

国民の一人一人が海をめぐめる様々な状況に思いを馳せ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という「海の日」の趣旨に思いをいたす機運を盛り上げることが極めて重要です。

「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望します。



総務文教委員会 閉会中審査報告

「空き家対策」については、3月に策定された第2次多久市空家等対策計画の中で、空き家の状況把握として、これからは囑託員からの報告や相談を原則とし、近隣住民から市役所へ直接相談があった場合は囑託員に相談内容を報告するなど、今まで以上に地域との情報共有を踏ることとなり、また諸問題に対しても庁内の各関係部署と連携し、横断的な取り組み体制が今まで以上に強化されていることが確認できました。これまで本委員会においても空き家情報の把握や相談窓口の一本化、庁内組織の連携強化について取り組みを進めてきた結果であり、委員会審査の目的を果たしたため、継続審査を終了することとしました。

次に、公共施設の維持管理対策については、多久市公共施設個別施設計画策定の考え方や基本方針について説明を受け、委員会からは計画素案の早急な作成要望を行い、作成後は速やかに再協議を行うこととしました。

産業厚生委員会 閉会中審査報告

「持続可能な営農への取り組み」については、市の担当課と「多久市農業振興計画2021」について、具体的取り組みとその進捗状況について説明を受けるとともに、意見交換を行いました。説明の中では、多久市農業再生協議会で策定した水田収益力強化ビジョン、経営所得安定対策、多久市独自の補助事業、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、中山間地域総合整備事業、多面的機能支払交付金事業などについて、計画の達成に向け進めているとの説明を受けました。

委員からは、新規就農を希望する方には、樹園地・農業機械等を引き継げば、その年からの収穫も望めるし、資金的にも緩和されるのでみかんの栽培を勧めてはどうか、スマート農業の山間部での対応は費用対効果に問題点があり対応を考えてほしい、地域農業集落の法人化へ向けた取り組みに積極的に関わってほしい、もっと地域に溶け込んで広範な相談等に対応してほしい等の意見がありました。

今後も、「持続可能な営農への取り組み」、「市内事業者の更なる活性化」の2項目について、委員会の中でも検討を重ねるとともに、市の担当課や商工関係団体との協議を重ね、検討を進めていきます。



田植え後の中山間地水田

予算特別委員会 審査報告

令和4年度多久市一般会計 補正予算第3号

審査の過程で、新型コロナウイルス感染症対策予算については、予算編成の過程において事業内容を十分に検討し執行するようにとの意見がありました。

本議案については、慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案番号	議案名	賛否表															議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
議案甲第23号	多久市副市長の選任について	飯守康洋	田淵厚	香月正則	樺島永二郎	國信好永	山本茂雄	田中英行	中島國孝	平間智治	中島慶子	小川三郎	古賀公彦	鷺崎義彦	野北悟	原案同意	

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席